

津久井やまゆり園事件について

昨年7月の事件発生から半年が過ぎました。忘れてはならない事としてずっしりと胸に残っています。“福祉”の中で起こった事件であり、このような事件だけではなく、人の人権が決して侵されることのない福祉、社会（虐待、差別のない福祉、社会）にしていかなければなりません。私たちが、草の実会が問われていると受け止めています。これからどうしていくのかを見つめる為にも、まずはどう感じたのかを語ることから始めたい。草の実会の利用者、家族、職員、ボランティアさんにこの事件について感じたことをお聞きしました。以下にその一部を掲載します。この会報に載せることを了承して頂いた方の分です。順不同です。
『草の実』読者のみなさまのご意見もお聞かせ願えれば！

1、Aさん（家族）

障害者である息子の両親である我々と彼の兄弟達は、彼が愛すべき存在であり共に暮らしていくうえで何ら問題ないことをよく知っています。今後も彼と明るく穏やかに暮らしていくことを通じて、生まれてきてまもない彼の甥や姪及び近隣の人々に対し、前記のことを知らしめてゆきたいと思っています。

世の中には他の意見を受け入れようとしない狭量な人間が山ほどいます。したがって現実の世の中は仲々実現しません、時間をかけて少しずつ前進するしかないと思います。

2、Bさん（職員）

まず何故福祉への志のない人間を雇ったのか。面接の時点、働いてる中で問題だと感じる人、評価する人はいなかったのだろうか。その職員に対し指導を適切にしていたのだろうか。

福祉業界は間口が広く人手不足があたりまえ現状である。よって志を持って飛び込んでくる人は少ない。金がかせぐ為、仕事だから物事だけやればよい、心ない対応をしても平気な職員がはびこっていると思われる。

（中略）人間を相手にする仕事をするならば、雇うのならばしっかり志を持っている人、心のある人を見極めていくべきである。

殺人に至る心境は分からないが、そのような人を雇った法人にも問題を感じる。この世の中、いつこのような事件が起こるか…。上司などの部下への対応、環境を正していかなければ、知らない間に恨みをかい、利用者を犠牲にしてしまうのではないかと。志、心のある人を…。

3、Bさん（利用者）

むごい、ひさん、ざんこく、かわいそう。

4、Cさん（職員）

人を採用する場合、面接などで見抜く事は難しいので、入ってから見ていく必要がある。今回は色々サインを出していたのではないかと、上司が日頃良く見て評価していかなければならない。同僚に聞く事は個人の気持ちが入

る事はあるが、参考にはなるのではないかと。

今回は特殊な事件であり、想定もしていない事なので防ぎようもなかったかも知れない。どこの職場でも職員を疑う事なく信用してまかせているのではないだろうか。

5、Dさん（家族）

本人は事件の事はほとんど分かりませんので私(母)がこういう事があってたくさんの人が亡くなったりケガしたんだよと話したら「かわいそうだね」と言っていました。

6、Eさん（家族）

なぜ犯人がこんな事をしたのか わかりませんね。

福祉の道を選び職員として働いていたのにいつからこのような「不幸をつくる障害者はいなくなればよい」という差別意識が生まれたのでしょうか。措置入院して「大麻精神病」「妄想性障害」などと診断されたにもかかわらず、わずか10日間ほどで退院している。

その後、事件を起こすまでの間の犯人の言動などちゃんとフォローがなされていたのか不明ですが。職員同志のトラブルか利用者さんとのトラブルがあったかわかりませんが、なぜ多くの人の命を奪わないといけなかったのか 本当に残念な事件だったと思います。

今後 このような事件が起こらないようにするにはどうしたらいいのか、正直わかりません。日頃の人間関係をスムーズにしておく、夜間施設に簡単に入れないようにする、ホームセキュリティーなどで何かあったらすぐ警備会社に連絡が行くようにする（事件のあった施設でもそういうシステムがあったのかわかりませんが）

7、Gさん（家族）

障害者になりたくてなった訳ではない、本人達には何の罪もない子供達の命を奪う事は、けっして許せることではありません!でも、100人いれば100通りの考えがあって、また不平等感を否定できない社会があって、そして現状の日本の福祉状況やまた、税金の使われ方や働いても働いても楽にならない先が見えない人たちが大勢いて、特に本当に今の若い人たちは大変!というこの日本においては、障害者がいることで、税金が使われていくと考える人がいても当然といえば当然なのかもしれないと思うことがあります。

自分達が働いて、暮らしも楽ではないのに、その中から税金を払ってでもそれが、自分達の身に返ってきている・将来返ってくると感じられる社会であれば・・・そういう悲しい考えは生まれないのかもしれない。

現実、制度が変わってきて、医療や色々な面で昔と比べて障害者は助成して頂いていると思います。それはありがたい事ではあります。しかし、それに甘んじて障害者だから、障害者だからと、それを盾にとって大手を降っていることはないでしょうか?と思う事も事実です。周りで見・聞きする事も事実です。親や家族で負担できることはして、それでもどうしても助けて頂きたいところは利用させて頂く、お願いする、という謙虚さも必要ではないのかしらと思っています。

助成制度があるからといって、必要以上に税金を使っ

ていることはないでしょうかと感じる事があります。
(中略) 日本の福祉や社会が現状である以上、親自身もこの事件をきっかけに反省する事もあるのではないかと考えています。それがまた、少しでも我が子が社会の中で生きていく為に暮らしていくのに住みやすい環境作りにつながっていれば・・・と思っています。

8、Hさん(職員)

なぜこのような事が起こる事を予測できなかったのか。衆議院議長宛に予告が届いた時になぜ対策をとれなかったのか。元職員がそのような行動を起こすと予測できなかったのか。それに対する対策を考えられなかったのか。全く関係のない罪のない利用者らが、犠牲にならなければいけなかったのか。

とても悔しい気持ちになる。

世の中から見れば殺した本人だけが悪いと思う人も多いと思う。しかしそのような人を作り上げてしまった、教育が出来なかった、施設にも大きな原因、問題があると思う。

世の中には同じような人がいるかも知れない。同じ様な事が今後起こり得るかも知れない。決して自分はそのような人間になりたくはない。ならない。

9、Iさん(職員)

全貌が徐々に見えてきた事件の数日後作業中に利用者が「障害者はいらないから殺したんだって」私は「・・・。」
「いなければいい人なんて、いないよ!ねえ」

みんなはあの事件をどう感じたんだと考えた「・・・。」の間、おそらくすぐ次の言葉を発したもののすぐ長く感じた心の間「・・・。」でした。

この事件に関しての見方、考え方は様々だと思います。想定を超える事件が起きた今、利用者を尊重しながら守る仕組み(ハード面、気持ちのケア)は再構築しなければなりません。

10、Jさん(家族)

このニュースを知った時には本当にショックをうけました。障害のある子を持つ親として又障害児教育に関わってきた人間として怒りがこみあげてきました。

何故?犯人が悪いというだけでは答えはみつきません今の社会構造の中にもこのような犯人を作り上げてきた病巣があるような気がしてなりません。この何年かをみていると子育てにおける虐待、又、弱者へのいじめを含めて人間性をしっかり育てるシステムが欠けているような気がしてなりません。基本的に人と人とのつながりが希薄になってきて、どんな人にも生きる意味があること又、命は大切であることを根本的に理解させることができなくなっているのではないのでしょうか。

豊かな物質文明は人間性を尊重する文化とは比例していません。あらためて人のつながりを根本とする教育システムを作り上げ、人間としての生きる価値は誰にでもある事、命は尊いものである事を認識させることが必要なのではないのでしょうか?ヒットラーのユダヤ人虐殺はくり返されてはならないのです。

11、Kさん(職員)

私たちの周りにもある小さな人権侵害が、凝縮して最悪のかたちであられたのが津久井やまゆり園の殺人事件だと思います。

自分が仕事をする上で一人一人の個人を尊重した支援ができていくかふり返り、押しつけやきめつけの支援を行って人権侵害をすることのないよう気をつけたいです。例えば自分が生きている時間をどう使うかは、それぞれの自由で、①自由を保障されている上で②自分が“働く”ということを選択し③その権利を行使する。

私は①②を保障し、権利を行使するための支援をしっかりしたいと思います。

事件のもとになった偏見、差別、思想が生まれるスキを与えないほど、一人一人が輝いて生きられるようになったらよいと思います。

自分の居場所だと思えるところで、自分の時間を自由に使える権利を保障される事が、生きる力を与えてくれ、輝いて生きられると思います。

12、Lさん(家族)

あまりにも残酷で悲しく悔しい事件でした。多くの理不尽な事件の被害者となられた方々同様に二度とあってはならないと強く思います。ご本人もご家族もそれぞれ障害を持っているからこそその気の遠くなりような努力を重ねて今日に至っていると思います。

障害があろうと無かろうと、私には娘は宝物です。毎日毎日娘の幸せを願い祈っています。それはどのご家族も同じだと思います。

障害に向き合って無垢に真直ぐに生きようとする姿に人として励まされ、尊敬すら覚えます。自分勝手なこの様な事は二度と嫌です。

最後に被害者の方々のお名前を知ってご冥福と全快を願って祈りたかったです。子を持つ親として。

13、Mさん(職員)

すごく深い事件だと思う。

日本の「きちんとしている国民性」は・・・学校も会社も、どこもきちんとしていること、できること、正しくあることが求められ・・・そんな中「あるべき姿」「スタンダード」から外れてしまう人がたくさんいます。どこかで排除される人がまた、どこかで人を排除するのではないのでしょうか?

「いろんな人がそのまま受け入れられる社会が必要」そんなことはきっとみんなわかっている。

誰もが「自分は人を受け入れている」と思っている。でも、このような事件が起こってしまうのは、多様性を認め合うこと、受け入れることがとても難しい事だからだと思います。私もまた、人を認め許しているのか・・・。

私は施設に乗りこんで虐殺するような事はしませんが、人を傷つけること、排除するようなことをしているかもしれない。私は犯人とどれくらい違うか私はこんな事はしないと思う。でもさほど違わないのかも知れないと思う。